

平成 25 年秋の外国人叙勲
ジョージ・ジョウジ・タナベ・ジュニア元ハワイ大学宗教学部長・名誉教授の
旭日中綬章受章について

2013 年 11 月 3 日

日本政府は、11 月 3 日(日本時間)、平成 25 年秋の外国人叙勲受章者 49 名を発表し、
ハワイ在住のジョージ・ジョウジ・タナベ・ジュニア元ハワイ大学宗教学部長・ハワイ大学名誉教
授が旭日中綬章を受章されました。

勲章: 旭日中綬章

氏名: ジョージ・ジョウジ・タナベ・ジュニア(69 歳)

主要経歴:

- 元ハワイ大学宗教学部長
- ハワイ大学宗教学部名誉教授

功労概要:

アメリカ合衆国における仏教研究を通じた日本文化及び価値観の普及と相互理解の
促進に寄与。

現住所(国籍): ハワイ州ホノルル郡ワイアルア町(アメリカ合衆国)

○ ジョージ・ジョウジ・タナベ・ジュニア(George Joji Tanabe, Jr.)

タナベ氏は、1974 年にコロンビア大学大学院東アジア言語文化学部日本語科を卒業後、
東京大学研究生として 2 年間日本に滞在し、仏教の哲学と歴史に関する研究を行った。
1977 年にハワイ大学マノア校宗教学部に移り、その後、28 年間に亘って、宗教学、仏教学、
哲学の講義を中心に教鞭を執る傍ら、日本仏教研究に関して精力的に執筆、講演活動を展
開した。1991 年、ハワイ大学マノア校宗教学部長に就任、2001 年まで務めた。2006 年に同
大学を引退後は、日本仏教をはじめ日本文化全般についての執筆や講演など幅広い活動を
続けると共に、仏教伝道協会ハワイ支部理事として仏教精神の理解促進や宗教間対話の推
進に努めている。

同氏は、当地において 35 年に亘って日本仏教を中心とした宗教学の中核を担い、学生指
導や教育研究に従事する一方で、日米間の大学連携・協力の推進、とりわけ研究人材の交
流促進と活性化に熱心に取り組んだほか、法華経と日本文化に関する国際会議等を立ち上げ
たり、また、2001 年のえひめ丸事故の際にも、様々な形で仏教的観点から米側関係者の対
応振りに対するアドバイスを提供し、配慮を尽くす等、米国における日本の仏教及び日本文化
に対する理解を増進し、同分野における日米間の学術・文化交流の促進に大きく寄与してき
ている。